

9370

郵船ロジスティクス



取締役 常務執行役員 二見 昭夫 氏



～世界で認められ選ばれ続ける物流パートナーへ！～

郵船ロジスティクスとは

● 会社概要

- ・1955年に設立された航空貨物に強みを持つ「郵船航空サービス」と、海上貨物とロジスティクスに強みを持つ「NYK Logistics」が、2010年に経営統合して誕生した国際物流企業です。
- ・グローバルにネットワークを展開しており、43ヶ国に514拠点、(南アジア・オセアニア202、東アジア92、欧州82、日本73、米州65)、グループ従業員数は22,254人です(2017年3月末時点)。
- ・2005年の「郵船航空サービス」時代に東証一部に上場しました。

● 直近の業績

- ・直近(2016年度)の営業収益は4,391億円、営業利益は42億円です。
- ・2017年度の営業収益は4,770億円、営業利益67億円と増収増益を計画しています。

当社の仕事：国際物流とは

● 輸送媒体を持たない

- ・当社は輸送媒体を持たない国際物流業者です。
- ・国際物流とは、海上・航空輸送やロジスティクス事業を組み合わせた“ドア to ドア”の物流サービスです。
- ・物流業界の旅行代理店の位置づけで、航空・船・鉄道・トラック会社等の輸送媒体を持ちません。
- ・単品～フルメニューまでお客様の御要望に応じて国際物流に関する最適なサービスを選択し、組み合わせて、提供しています。
- ・当社は、国際物流業者ランキング(取扱量)で、15位前後で推移しています。事業の歴史が長い、欧州の会社が上位を占めています。

● 拡大する国際物流市場

- ・世界の輸送マーケットは巨大で、海上では年間で約1億8千万TEU(=20フィートコンテナ)のコンテナが、航空では、約1,850億トンキロの貨物が動きます。
- ・ロジスティクス市場の世界全体の売上規模は約22兆円です。世界全体では人口増と経済拡大で伸びており、当社事業拡大の機会は着実に増えています。

事業動向と取り組み

● 当社の取扱高は右肩上がり

- ・販売拡大に取り組み、海上・航空共に貨物の取扱高は、右肩上がりが増加しています。
- ・営業収益構成比(2016年度)は、地域別では、海外売上が80%を超えています。
- ・事業別では、海上(32%)、航空(28%)、ロジスティクス(40%)のバランスが取れた構成です。

● 中長期経営計画“TRANSFORM 2025”がスタート

- ・2017年度より2025年度までの新中長期経営計画がスタート。
- ・以下の4つの基本戦略に沿って、海上輸出、航空輸出ともに取扱いの増加を実現させ、10年間で営業収益2倍、営業利益率を3%程度に引き上げ、世界で認められる物流企業を目指します。「4つの基本戦略」

 1. “One Yusen Logistics” の構築
 2. お客様と産業を深く理解し、課題の解決に取り組む
 3. 高いサービス品質と顧客満足で差別化を図る
 4. 持続的な成長を支える基盤作り

● 目指す姿

- ・長期ビジョンは「世界で認められ、選ばれ続けるロジスティクス企業となり、ビジネスと社会の持続的な発展に貢献」することです。

ESGの取り組み、株主還元

● 様々なESGへの取り組み

- ・当社はESG(環境・社会・ガバナンス)に世界各地で積極的に取り組んでいます。発砲スチロールを活用した環境に配慮した輸送養生技術(ストラングシステム)、ハリケーン被害支援物資の無償輸送(アメリカ)、海岸清掃活動(アジア)、玩具寄付(欧州)などです。

● 配当金(株主還元)

- ・2017年度の年間配当は中間8円・期末8円の年間16円を予想しております。
- ・安定配当を基本方針とし、加えて、株主優待制度を実施しています。